



おおらか さわやか きわやかな人を育む大崎の教育

問 教育委員会 ☎ 476-1111 (401)

◆大崎町子ども会大会について

趣 旨：町内の児童・生徒が一堂に集い、異年齢集団による交流活動を通して子ども会の活性化を図りながら、心豊かな子どもを育成する。

日 時：2月17日（日） 8:30～12:00

場 所：大崎町立大崎小学校

内 容：活動発表（三文字地区子ども会、中沖校区子ども会、持留子ども連合会）

体験活動・昔遊び（お手玉、コマ、けんば 等）

・創作活動（凧づくり、ゴム銃 等）・餅つき体験、そば打ち体験

対象者：子ども会会員・町内の児童・生徒及び保護者



◆第60回記念鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会

期 日：2月16日（土）～20日（水）

○大崎通過予定日 第4日目 2月19日（火）

大崎中継所（しろやまビル白鶴前）を13時27分頃に通過する予定です。

あたたかいご声援をよろしくお願いいたします。

まよびの窓おしえの庭 NO.15 感動を子どもと共に

大崎幼稚園 園長 三浦 敏春

子どもは、家庭では年齢の違う人と生活をしています。子どもが出来ない事に対し、「まだ子どもだし」とか「…が出来なくても」と、親が手を出してしまい、それが当たりまえであると、周囲の人も決めてかかってしまいがちです。とかく子どもは甘やかされ、時には無視されます。「もう僕は、…才だから…は出来るのに」という年齢相応の自覚を親が潰しているのではないのでしょうか。

大人には何気ない事でも、子どもが新しい思いつきや発見をした時には感心した表情を、子どもが美しいものを見つけて感動している時には感動している表情を、子どもが何か悲しんでいる時には悲しみの表情を子どもに見せてください。

親が同調することで、子どもは一緒に気持ちになってくれる親に「教えよう、伝えよう」という気持ちになります。

感心・感動・喜び・悲しんでくれる親に伝えようとする時に言葉は多くなり、観察感覚は鋭くなり、豊かな感性や情緒が養われ、自信が付くのです。

子どもが話しかけてきた時には、手を休めて子どもに顔を向け、腰を落として座り、目と目を同じ高さにして話を聞いて下さい。そうする事で子どもの話す事も良く伝わり、親の話す事も思いも子どもに伝わることによって子どもが安心します。

それが親の愛情ではないのでしょうか。子どもが一番求めるものは親の愛情とふれあいだと思います。人間形成の基礎をつくる大事な時にこそ、子どもとのふれあいを大切にして下さい。

そして、家庭教育とは子どもの話をよく聞く環境と時間を作り、経過と結果をほめながら何回も何回も繰り返し教える根気と、子どもが考えて答えを出すまでじっと待つ忍耐のいる仕事であると理解し実践してみてください。



テレビゲームをやめて外で遊ぶのじゃ！



昔遊びの裏には、原理が働いて身体力、精神力、社会力が養われるんだよ！

